

# 令和6年度



# 「福祉体験学習」

## メニューのご紹介



福祉体験学習は、年齢、性別、個人の能力差、国籍など、さまざまな特性や違いを超えて、すべての人に配慮したまちづくり、ものづくりなどを行う考え方を学ぶ福祉の話（ユニバーサルデザイン含む）を軸に、各種体験学習を実施します。

伊勢市社会福祉協議会では、各種体験学習を通して、自分達に何ができるのか、これからの自分達の活動について考えるきっかけを作るお手伝いをします。「総合的な学習の時間」等でご活用ください。



# 【目次】



◎ 【福祉体験学習時のお願い】	P1
◎ 【福祉体験学習のご利用方法】	P2~P3
◎ 【福祉体験学習メニュー】	
必須 (1) 福祉の話 (ユニバーサルデザイン含む) (オンライン可)	P4
(2) ボランティアの話 (オンライン可)	P4
(3) 高齢者擬似体験及び介助体験	P5
(4) 妊婦体験及び介助体験	P5
(5) 車いす体験及び介助体験	P6
(6) 出前講座「明日からできる車いすの使い方」	P6
(7) 視覚障がい者の理解 (アイマスク体験及び介助体験)	P7
(8) 当事者による講話 (視覚・聴覚)	P7~P8
(9) 福祉車両の使い方講座	P8
(10) 福祉の仕事学習セミナー (オンライン可)	P9
(11) 福祉のお仕事、見て学ぼう! (福祉施設の見学)	P9
(12) 障がい者サポーター研修・簡単な手話体験 (オンライン可)	P10
(13) フリースペース (憩いの場) で交流しよう!	P11
(14) SDGs から考える伊勢の未来~今、自分たちができることを考えよう~ (オンライン可)	P11~P12
(15) 認知症サポーター養成講座 (認知症キッズサポーター養成講座)	P12
<b>NEW</b> (16) Ise Happy Cats(命の授業)	P13
(16) その他	P13



伊勢市社協マスコットキャラクター  
げんきくん&こころちゃん

## 【福祉体験学習時のお願い】



福祉体験学習は当事者への理解を深める効果的な学習です。しかし、目的をどのように設定するのかで意味合いは大きく変わり、例えば「車いす体験」では、単に「車いすの押し方など操作を学ぶ」ことだけが目的ではなく、その操作方法を学ぶことで「障がいのある方の生き方にふれる」ことや「優しい心を育てる」こと等にもつながります。

福祉体験学習は、このような目的を達成するための手段であって、福祉体験学習自体が目的ではないこと、そして本来の目的を達成する上で、当事者の方からお話を聴くことも重要だと考えておりますので、ぜひそのような視点で福祉体験学習を活用していただきますようお願いいたします。



## 【福祉体験学習のご利用方法】



### 対 象

伊勢市内の福祉協力校（小学校・中学校・  
高等学校）、専門学校、大学、企業・事業所等

### 申込み期間 通 年

※事前相談・打合せ後、福祉体験学習実施日・内容を決定し、【福祉体験学習講師派遣依頼兼物品借用書】を実施日の 1週間前までに伊勢市ボランティアセンター、または伊勢市社会福祉協議会各支所へご提出をお願いいたします。

※「(15) 認知症サポーター養成講座（認知症キッズサポーター養成講座）」については、実施日の1カ月前までの申込みが必要です。

### 受講料

**無 料**※(8) 当事者の講話以外

※「(8) 当事者の講話」については、外部講師に依頼することになりますので、講師謝礼・材料費などの費用が必要です。

(講師謝礼・材料費は、福祉協力校助成金が利用できます。)

### 申込みから実施までの流れ

#### ① 事前相談

以下の**問合せ先**に希望する学習内容や実施希望日等をご相談ください。

#### 【 問合せ先 】

#### 社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会

伊勢市ボランティアセンター

八日市場町 13-1（伊勢市福祉健康センター）

TEL : 63-6370 FAX : 65-6121

E-mail : ise-vc@mie.email.ne.jp

げんこころーむ

小木町曾祢 538（イオンタウン伊勢ララパーク 1 階）

TEL : 63-7130 FAX : 27-2415

E-mail : ise-vc@mie.email.ne.jp



## ② 事前打ち合わせ

社協担当職員が、福祉体験学習実施場所にうかがい、体験メニューに必要な走行ルートや実習場所の確認など、事前打ち合わせを行います。



## ③ 【福祉体験学習講師派遣依頼 兼 物品借用書】の提出

福祉体験学習実施日の 1週間前までに伊勢市ボランティアセンター、または伊勢市社会福祉協議会各支所へご提出をお願いいたします。



## ④ 福祉体験学習の実施

私たちは福祉体験学習の内容を充実させたいと考えており、体験学習に対する先生方のお考えや思いがヒントになります。体験いただいたご感想、学習内容に関するご意見等お聞かせいただけますと幸いです。



必須

## (1)【福祉の話（ユニバーサルデザイン含む）】（オンライン可）

「ふくし」とはどのようなものか、身近なふくしを知る入口としてユニバーサルデザイン

の話を変えながら講話をします。そして、普段の生活について改めて考えなおすと共

に、普段の生活の中でも他人のことを考え、譲り合いの気持ちを持ち心のバリアフリー

へとつなげます。

対象：小学3年生以上

### ☆体験項目

- ・「ふくし」ってなあに？ 持ちやすく工夫されたハサミ
- ・実際にユニバーサルデザインが用いられている物に触れてみる
- ・各種体験の事前学習



持ちやすく工夫されたハサミ

### ユニバーサルデザインの7つの原則

1. みんなが使える。（公平性）
2. いろいろな人が自由に使える。（自由度）
3. 使い方が簡単。（単純性）
4. 必要なことがすぐわかる。（わかりやすさ）
5. 間違えにくく安全。（安全性）
6. 少ない力で楽に使える。（省体力）
7. 使いやすい大きさ。（スペースの確保）

ユニバーサルデザインの7つの原則

## (2)【ボランティアの話】（オンライン可）

「ボランティア」とはどのようなものか、これからボランティア活動を始めようとする

人やボランティアに関心のある人に、自分に合った「ボランティア」を見つけてもらう

ことを目的に講話をします。「ボランティア」の定義や歴史、実際の活動内容をパワーポ

イントでご紹介します。

対象：小学4年生以上

### ☆体験項目

- ・はじめてみようボランティア



### （３）【高齢者擬似体験及び介助体験】

高齢者体験装具を装着し、体の重さ、肘や膝の動きにくさのほか、白内障とほぼ同じように見えるメガネを使って目の衰えを体験します。そして、加齢に伴う筋力低下や視覚障がいを経験することで、高齢者の身体状況を理解し、自分達にどのようなサポートができるのかを考えるきっかけとします。

**対象：小学４年生以上**

#### ☆体験項目

- ・ 階段の昇降
- ・ 校内の掲示物等を見て、どのように見えるかを確認する
- ・ 校内を歩く（段差やトイレ、入口など）



### （４）【妊婦体験及び介助体験】

体験グッズを用いて、腰やお腹の身体状況等、妊婦の特徴を理解し、学校や地域で一人ひとりがどのように妊婦と接していけばいいのかを考えるきっかけとします。

**対象：中学生以上**

#### ☆体験項目

- ・ 校内を歩く（段差やトイレ、入口など）
- ・ 起き上がり体験





## （５）【車いす操作の体験及び介助体験】

車いすの説明をした後に、実際に車いすに乗って自走体験をし、段差などを体験します。また、車いすを押す介助体験をし、車いすのサポート方法を学びます。自走体験と介助体験の双方を体験することで、車いすを利用している人の気持ちを理解し、バリアフリーや自分達に何ができるのかを考えるきっかけとします。

**対象：小学４年生以上**

### ☆体験項目

- ・ 車いすのたたみ方、ひろげ方
- ・ 車いすの押し方（声かけ）
- ・ ブレーキの操作方法、段差や溝の越え方、坂道の上り下り など



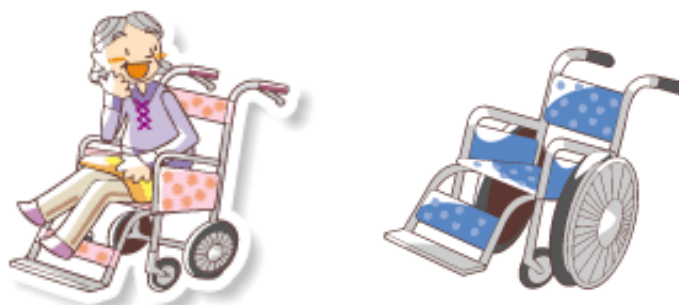
## （６）【出前講座「明日からできる車いすの使い方」】

病院やショッピングモールで見かける車いすの使用方法について、福祉用具レンタル事業所スタッフが分かりやすく説明します。専門の職員からの指導により、実際に車いすを使ってみることで、車いすの種類や動作方法を学びます。

**対象：小学４年生以上**

### ☆体験項目

- ・ 車いすの種類知識
- ・ 車いすの基本的な操作方法



協力：伊勢市ボランティアセンター地域貢献登録企業 株式会社 グッド・ナル

## （7）【視覚障がい者の理解（アイマスク体験及び介助体験）】

二人一組でペアを組み、一人がアイマスクを付けて、もう一人が介助を体験します。

途中で交代し、両方の立場を体験します。視覚障がい者の気持ちを感じ、生活上の不便を知ることで、介助の仕方、声かけ方法、基本的なことを身につけ、今後の視覚障がい者との接し方について学び、視覚障がい者への理解とこれからの自分達の活動を考えます。

**対象：小学3年生以上**

### ☆体験項目

- ・ 平地での歩行（声かけ）
- ・ 階段の昇降
- ・ 椅子に座る



## （8）【当事者による講話（視覚・聴覚）】

福祉体験学習を深める上では、当事者の方々の話や体験を聴くことが大切です。当事者の方々の今までの体験や生きてきた歴史を知ることで、尊厳を育み交流することができます。

※外部講師に依頼することになりますので、講師謝礼・材料費などの費用が必要です。  
（講師謝礼・材料費は、福祉協力校助成金が利用できます。）

**対象：小学3年生以上**

### ☆体験項目

- ・ 目の見えない人や耳の聞こえない人から、「見えないということ、聞こえないということはどういうことか?」、「どのような生活をしているのか?」、「伝える気持ちの大

切さ」などの話を聞き、視覚障がい者や聴覚障がい者についての理解を深める



## （９）【福祉車両の使い方講座】

三重ダイハツ販売株式会社のスタッフによる福祉車両「タントスローパー」を用いた車いすの乗降体験を行います。介護する側とされる側を交代して体験することで、介助方法や介助を必要とする方の気持ちを理解し、また福祉車両の正しい使い方を学ぶことができます。

**対象：小学４年生以上**

### ☆体験項目

- ・車いすの押し方（声かけ）など介助方法
- ・福祉車両の正しい使用方法



協力：伊勢市ボランティアセンター地域貢献登録企業 三重ダイハツ販売株式会社

## (10)【福祉の仕事学習セミナー】(オンライン可)

幅が広く、多くの種類がある福祉の仕事について、職種やそれぞれの仕事内容を紹介します。他にも、福祉に携わる人の体験談や福祉の仕事に就くための進路選択など、具体的な内容を講話から学び、児童・生徒の将来の職業選択の一つとして福祉の仕事を知って頂くためのきっかけづくりを行います。

**対象：小学4年生以上**

### ☆体験項目

- ・福祉の仕事の紹介（種類、内容、職種）
- ・福祉の仕事に就くには？（進路選択など）
- ・福祉施設で働く人の体験談（DVD「のぞいてみよう介護の仕事」鑑賞あり）



協力：三重県福祉人材センター（三重県社会福祉協議会）

## (11)【福祉のお仕事、見て学ぼう！（福祉施設の見学）】

伊勢市社会福祉協議会の福祉施設（高齢者施設、障がい者施設等）を見学し、利用者への支援や利用者が施設でどのように過ごすことができるのかなどを学びます。高齢者や障がいのある人への接し方だけでなく、福祉の仕事についても理解を深めます。

※見学する施設によっては、1回で見学できる定員がある場合がございますので、ご相談ください。

**対象：小学3年生以上**

### ☆体験項目

- ・福祉施設の見学



## (12) 【障がい者サポーター研修・簡単な手話体験】(オンライン可)

障がいのある人を取り巻く伊勢市の状況や障がい者サポーター制度、障がい特性や障がいのある人が必要とするサポートについて、パワーポイントや DVD の動画をまじえてご紹介します。また、あいさつなどの簡単な手話を身につけていただきます。90 分程度の講座です。

講座修了後、登録申込書を提出いただくと、障がい者サポーターとして認定し、障がい者サポーターを証明するピンバッジをお渡しします。

**対象：小学4年生以上**

### ☆体験項目

- ・障がい者サポーター制度について知ろう
- ・あいさつなどの簡単な手話体験



ピンバッジ



協力：伊勢市健康福祉部高齢・障がい福祉課

## (13)【フリースペース（憩いの場）で交流しよう！】

ここに不安のある方や障がいのある方もない方も、老若男女問わず、どなたでも自由に集える憩いの場「フリースペースわげん」で、障がいのある方をはじめ誰もが抱える葛藤を分かち合い、お互いを認め合う場の体験や、運営者による講話で、生きづらさやさまざまな思いを抱えている人とのかかわり方や障がいについて学びます。

※講話はオンラインでの学習も可能です。

**対象：小学4年生以上**

### ☆体験項目

- ・フリースペースわげん参加者との交流体験

協力：フリースペースわげん

わげんあいさ  
和顔愛語



## (14)【SDG s から考える伊勢の未来～今、自分たちに できることを考えよう～】(オンライン可)

将来を担う子どもたちが、様々な社会の課題とSDG s のつながりを知ること、自分たちのまちで自分に何ができるのか、そして「誰一人取り残さない」、「一人ひとりが手を取り合い自分らしく生きるためにはどうすればよいのか」をSDG s の17の目標や課題解決の実例を通して学びます。

**対象：小学4年生以上**

### ☆体験項目

- ・「SDG s 17 目標」って何だろう？
- ・課題解決のための活動紹介

・グループディスカッション（自分たちにできることを考えよう！）



協力：伊勢市ボランティアセンター地域貢献登録企業 河田フェザー株式会社

## 【15】【認知症サポーター-タ-養成講座（認知症キッズサポーター-タ-養成講座）】

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族をやさしく見守る「応援者」です。認知症を理解する人（認知症サポーター）が増えることで、認知症の人やその家族が安心して暮らせるまちになります。

この講座では、「認知症について」や、「認知症の人との接し方」、「認知症サポーターができること」などを学ぶとともに、相手を思いやる心を育むことを目的に実施します。

講座を修了された方にはサポーターカードとバッジをお渡しします。

※この講座の申込みに関しては、実施日の1カ月前までの申込みが必要です。

対象：小学4年生以上

### ☆体験項目

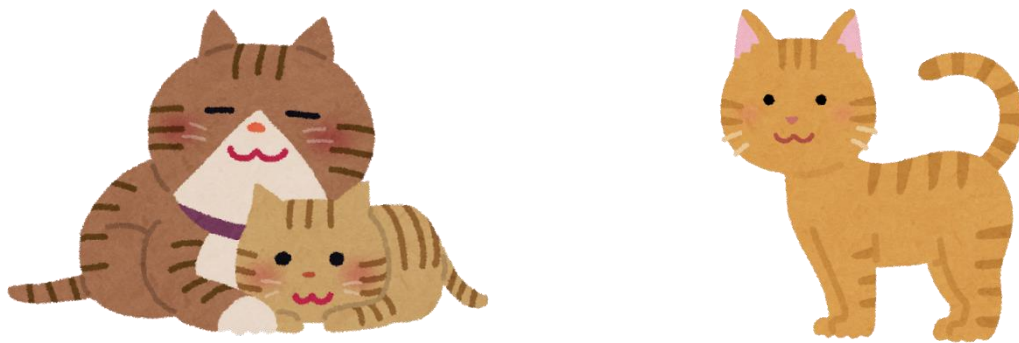
- ・ 認知症の理解
- ・ 認知症の人との接し方
- ・ 認知症サポーターができること 等

協力：伊勢市内の地域包括支援センター



## **NEW** (16) 【Ise Happy Cats (命の授業)】

保護猫活動を通して見える、近年の日本全国・三重県における動物愛護法や殺処分の  
変移。殺処分を回避するため環境省が推進している TNR(地域猫)活動についてのわかり  
やすい説明。ペットを家族に迎えるにあたり、命に責任をもつことの大切さなど、子ど  
もたちにもわかりやすく話します。子ども向け、大人向けにより時事的に内容を変えま  
す。



## (17) 【その他】

上記の体験メニュー以外で何かご要望等がございましたら、お気軽に伊勢市ボランテ  
ィアセンター、伊勢市社会福祉協議会各支所までお問い合わせください。





【申込み・問合せ先】

**社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会**

伊勢市ボランティアセンター・げんこころ一む

小木町曾祢 538 (イオンタウン伊勢ララパーク 1 階)

TEL : 63-6370 FAX : 65-6121

[E-mail : ise-vc@mie.email.ne.jp](mailto:ise-vc@mie.email.ne.jp)



中部支所 八日市場町 13-1 (福祉健康センター 1 階)

TEL : 63-5334 FAX : 27-2412

東部支所 二見町茶屋 456-2 TEL : 43-5551 FAX : 43-4427

西部支所 小俣町元町 536 TEL : 27-0509 FAX : 27-0570

北部支所 御菌町長屋 2767 TEL : 22-6617 FAX : 22-6604